

歩んできた物語、これからの物語

隠岐ユネスコ世界ジオパーク



日本海に浮かぶ隠岐諸島には、大陸の時代から、日本海形成の過程を記録した地質と火山活動によって原型が完成した大地と、自然と共に生きてきた人々の暮らしが息づいています。隠岐ジオパークは、こうした壮大な地球の歴史を今に伝える場所として、2013年に世界ジオパークに認定され、2023年に10周年を迎えました。

隠岐ジオパークの魅力（3つのポイント）

◆ 壮大な自然が語る「地球の記憶」

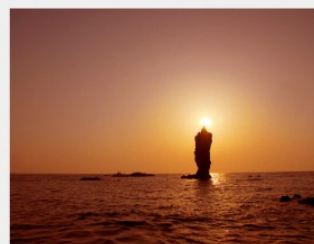
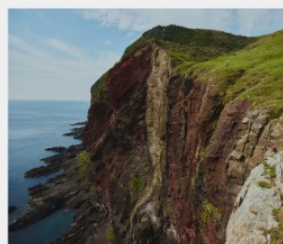
約600万年前の火山活動が生んだ大地
海食洞や赤壁、ローソク島など、ダイナミックな地形が
今も残ります。

◆ 人と自然が共に歩んだ「歴史と文化」

後鳥羽上皇や後醍醐天皇が流された歴史。
伝統文化や漁村の暮らしに、大地との深い結びつきが息づいています。

◆ 見て・学んで・楽しめる「体験フィールド」

ジオガイドと歩き、カヤックで海をめぐり、五感で感じる体験が、
旅をもっと深くします。



隠岐ジオパークについて
詳しくはコチラ！ →



隠岐の観光について
詳しくはコチラ！ →



ジオパークとは

ジオパークは、地質や地形から地球の歴史を学び、自然と人との関係を考えながら、未来につなげていく場所です。
現在、日本には48の地域が「日本ジオパーク」として認定されており、
その中でも10地域がユネスコ世界ジオパークに選ばれています（2025年1月時点）。

詳しくは、日本ジオパークネットワークの
公式サイトをご覧ください。



日本ジオパークネットワーク

検索